

# 平成 27 年度事業計画（案）

（平成 27 年度事業期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

## 事業概要

日本経済は全体的には緩やかな成長が見受けられるが、更なる向上のためには大幅な規制緩和による成長戦略が必要である。このような状況の中で、国では地方を元気にする地方創生事業を打ち出した。県の絶大な支援により山梨県馬術競技場を核として施設等の機能向上整備を図るとともに地域イベントの開催などを通して他県や本県の観光客へのPRを行い八ヶ岳南麓の馬事振興と一層の集客増を図る「八ヶ岳南麓地域観光振興事業」が採択された。一方、本年新たに「全日本ジュニア総合馬術選手権」や埼玉県主催の「関東ブロック国民大会予選会」の開催も内定し、山梨県の選手強化や国体関係強化選手への指導及びスポーツホースの事業にも積極的に取り組んで行く。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えた事前合宿招致などに取り組み、JOCから「競技別オリンピック強化拠点」の再承認を目指す。

## 1. 実施事業

- (1) 既存事業の充実と新規事業の増加を図り事業収益を向上させるとともに、更なる運営経費の削減に努め自立的な経営を目指す。
- (2) 利用者のニーズに応えられる意識改革と、一般の方も利用しやすい施設の改善に取り組みサービスの向上を図るとともに、情報公開も積極的に図っていく。
- (3) スポーツ振興のために、新たに広告支援・協賛事業に取り組む。
- (4) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、山梨県も知事を本部長とする「山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進本部」が設置された。それに伴い山梨県・北杜市と共に「山梨県馬術競技場」への事前合宿の招致や観光誘致に協力し、スポーツ・文化の発展に寄与するため、施設整備やイベント開催など八ヶ岳南麓地域観光振興等を行う。
- (5) 八ヶ岳南麓地域観光振興事業
  - 1) 地域と密着した活用方法の検討：地域検討会の開催
    - ①イベントの開催：開かれた競技場とするため、地域や県内外を対象としたイベントを開催する。
    - ②地域で開催されるイベントへの積極的な支援：地域で開催されるウォーキングなどと共催する。
    - ③乗馬の振興と底辺の拡大：全国ポニー大会や全国の「やぶさめ」愛好家などを集めて全国規模の大会を開催する。

2) 観光客へのPR

①観光マップを作成し地域のPRを積極的に行う

3) 施設整備

①観覧席の整備

②障害物・障害置き場の整備

③電子掲示計の整備

2. 公益目的事業

(1) 山梨県馬術競技場の高度な利活用を図るため、大会開催者に会場を提供し、全国レベルや県レベルの各種大会の開催を図る。また、県内外の大学・高校・その他の合宿や講習会の受け入れを行う。

(2) 馬術大会 (別紙参照)

1) 県外

一般 5回 学生 4回

2) 県内

一般 7回 少年 1回

(3) 強化訓練(合宿)・講習会の開催

日本馬術連盟総合馬術講習会

全国乗馬倶楽部振興協会講習会

山梨県馬術連盟強化合宿・講習会

各県馬術連盟強化合宿

各大学・高校馬術部長期合宿

各県の乗馬クラブ等合宿

(4) JOC(日本オリンピック委員会)競技別国内強化拠点として、再認定に向け働きかけを行う。本年度も総合馬術の大会やナショナルチーム夏期合宿等、強化対策事業に継続して活用してもらえる体制を整備する。

(5) トレッキングの受け入れ

小淵沢町の美しい自然に恵まれたトレッキングコースを活用して乗馬関係団体等の企画をする。乗馬外乗ツアー及びトレッキング大会を受け入れやクロスカントリーマラソン等、人の生涯スポーツの普及を支援する。

(6) 委託事業として山梨県所有の県有馬6頭の飼育管理と乗馬の調教を行う。

県有馬名簿一覧表

馬名	種目	産地	年齢	色	性別
レッドサーパス	馬場	北海道	9	鹿毛	セン
ヴィクセン	障害	北海道	12	芦毛	牝
メープル	障害	オランダ	16	黒鹿毛	牝
シリウスランド	障害	北海道	21	鹿毛	セン
エターナルブレス	障害	北海道	8	栗毛	牝
サンレインボー	障害	アイルランド	17	青鹿毛	セン

### 3. 収益事業

#### (1) スポーツホース預託調教受入事業

我が国のスポーツホースのレベルアップを図ることを目的として、県内外の競技馬を対象に当センター職員による能力アップの為の調教を受託する。

- ① 職員の騎乗技術の向上や自己研鑽の為に、国体及び各種大会に参加させる。
- ② スポーツホースは、A・B・Cの、各々3 ランクとし受け入れの飛躍的な拡大を目指す。

#### (2) 農林水産省からの委託事業について、(一般財団法人) 生物科学安全研究所と共同で馬用動物医薬品に係る各種試験事業に協力していく。しかしながら、27年度も事業の決定は未だなされていない。

### 4. その他

#### (1) 経営計画の再度の見直し(自主財源確保・経費削減)

#### (2) 山梨県馬術競技場施設景観維持の為、年間を通じて施設の保全に努める。

#### (3) 馬事普及のための施設利用

乗馬愛好者及びハンディキャップのある方々への施設開放や写生大会、北杜市小中学生の遠足や見学を受け入れて開放し、乗馬の啓蒙を図る。

#### (4) 公報活動

CM・テレビ・映画・地域の馬のイベント等への開放と共に継続して場内整備をする。また、ホームページを活用し情報公開を図る。

#### (5) 上部加盟団体との連携を行う。(公社)日本馬術連盟全国大会の共催や競技馬の登録、(公社)全国乗馬倶楽部振興協会の事業の受け入れを図る。

#### (6) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて総合馬術ナショナルチーム事前合宿等招致を行う。